

# 令和3年度 常滑市議会 広報広聴委員会 『中学生と語る会』 報告

## 1 日 時

- ①南陵中学校：令和3年10月27日(水) 13時40分～14時30分 (50分授業時)
- ②青海中学校：令和3年12月1日(水) 9時45分～10時35分 (50分授業時)  
10時45分～11時35分 (50分授業時)

## 2 事前準備

広報広聴委員会にて適時打合せ

8月5日(木) 教育長へ開催相談

8月24日(火) 9時00分 青海中学校にて打合せ(日程、内容)：正副委員長

8月24日(火) 10時30分 常滑中学校にて打合せ(日程、内容)：正副委員長

※ 適宜、中学校とのメールや電話のやり取りあり。

## 3 参加者

### ①南陵中学校

委員長 坂本 直幸 副委員長 渡邊 十三香  
委員 伊藤 直、西本 真樹、大川 秀徳、中村 崇春、稲葉 民治  
議員 加藤 代史子、盛田 克己、加藤 久豊、川原 和敏、  
伊奈 利信(議長)、都築 周典(副議長)  
随 行 相武 宏英、村瀬 研太郎、佐竹 利規、平野 有紗

### ②青海中学校

委員長 坂本 直幸 副委員長 渡邊 十三香  
委員 伊藤 直、西本 真樹、大川 秀徳、中村 崇春  
議員 井上 恭子、相羽 助宣、伊藤 史郎、伊奈 利信(議長)、  
都築 周典(副議長)  
随 行 都築 奈美、平野 有紗、浅田 久美子

## 4 懇談会内容

### ①南陵中学校

13時40分～ 議長、副議長 自己紹介及び質問への回答(ICTルームから)  
広報広聴委員長 自己紹介及び議会の説明(ICTルームから)  
13時53分～ 議員自己紹介、事前質問への回答、アンケートへの感想及び質疑  
応答(各クラスごと)  
14時30分 終了

### ②青海中学校

3年B組  
9時45分～ 議長、副議長 自己紹介及び質問への回答  
広報広聴委員長 自己紹介及び議会の説明  
9時55分～ 議員自己紹介、事前質問への回答、アンケートへの感想及び質疑  
応答  
10時35分 終了

3年A組

10時45分～ 議長、副議長 自己紹介及び質問への回答  
広報広聴委員長 自己紹介及び議会の説明

10時55分～ 議員自己紹介、事前質問への回答、アンケートへの感想及び質疑  
応答

11時35分 終了

## 5 所感

### ①南陵中学校

#### 渡邊 十三香 議員

今回は、生徒さんからの質問と一緒にアンケートも実施。「常滑の未来を自分事として考える」時間となるよう、またその内容を基に、各議員さんが中学生と自由に語り合えるよう工夫した。南陵中で山本校長と計4回（1回目のみ委員長と訪問）の話し合いと数回の電話（渡邊個人）メール（事務局）でのやり取りがあった。

（訪問時、第5次総合計画、議会だより持参）コロナ禍であることに加え、学校内のインターネット環境が整備されたこともあり、本会を2部制にした。

1部（14：40～14：53）ではICTルームより、議長、副議長には自己紹介と生徒さんからの質問に答えていただきました。その後、広報広聴委員長が自己紹介を兼ねて議会の説明をした。（事前に議長、副議長には、当日の流れと質問内容、所要時間等をお伝えする）2部の分科会が、より和やかな雰囲気での話し合いになるよう議長、副議長には挨拶等工夫していただいた。カメラの切り替え時には「よろしくお願いたします。」と手話を使って全員で各クラスの司会進行係の生徒さんにバトンタッチ。

2部（14：53～15：30）は、係の生徒さんの丁寧な挨拶で始まった。その後、各クラス代表の広報広聴委員が取り仕切った。

それぞれのクラスの代表委員の臨機応変な対応で良い雰囲気の中（話し合いが盛り上がり、授業終了のチャイムが鳴っても話し合いが終了しないクラスもあった）無事終了。

1期生議員である坂本委員長とのコンビで内容、事前準備等手探りの部分も多々あったが事務局にも助けられ何とか1回目の語る会を終了できた。問題は山積である。

多分ご不満をお持ちの議員さんもいると思われる。皆様のご意見を真摯にお聞きし今後活かしていきたい。

#### 西本 真樹 議員

- ・前回体育館でやった時より、各教室で開催できたことで集中してもらえたと思う。
- ・デジタル黒板を活用して正副議長や委員長のまとめのあいさつ、回答ができたことは良かったと思う。
- ・議会の説明は、パワーポイントか何らかの資料を作成して、デジタル黒板に写しながら話したほうが、より分かりやすい説明になると思う。
- ・「議員の皆様にお聞きしたいこと」を事前にまとめてもらったことで、広報広聴委員以外の議員にも回答してもらうことができたと思う。
- ・共通する質問の回答については、あらかじめ広報広聴委員会で検討をしておくべきであった。

- ・生徒から事前に出して頂いた質問には、文章で答えることが必要だと思う。

### 盛田 克己 議員

- 1 生徒のアンケートには、現在の常滑市の多くの課題が指摘されている。安全対策などは早急に対処を要す。また、不便な南部地域の実態も身につまされる。
- 2 前回の中学生と語る会では、事前質問に対する回答だけであり、消化不良の感じであったが、今回は充実した会話が出来たと思う。広報広聴委員の検討の努力がうかがえる。
- 3 ICTルームでの議長他の質問に対する回答などのメッセージは、生徒には何も残っていないと感じるため要検討。教室で同様の議論がなされているし、聞きづらい。教室での議論の時間を増やした方が生徒に分かりやすいし色々な議論が出来る。  
盛り上がった頃に制限時間となる。  
司会進行役の取り回しの適宜な判断が雰囲気盛り上げてくれている。
- 4 校長先生の指導方針が生徒に浸透されていて、いい雰囲気の学校と感じられる。

### 中村 崇春 議員

- ・両中学校ともに、中学校との打ち合わせの開始が遅かった
- ・事前の進め方で、中学校への負担割合が高く、来年度以降では議員側が主導で行うべきと感じた。
- ・地方自治の説明が口頭のみで、生徒には理解しにくいと感じた。
- ・生徒との質疑等は有意義であったが、各クラスでバラつきがあり、評価が分かれると感じた。
- ・最後に生徒の質問への答えを紙面で配布できると良かったのではないかなと思う。

## ②青海中学校

### 渡邊 十三香 議員

担当の議員の方々の準備と丁寧な回答で生徒たちは、多くのことを理解し考えを深めることが出来た。校長先生からの要望としてもあったように、時間が足りないと感じた。社会科担当の坂本先生がいわれた当日に向けての準備の時間が生徒たちにとって貴重な時間となったように思う。

改めて、常滑について考え、知ろうと思うきっかけになったのではないかなと思う。

最後に、教育長が「1時間目から4時間目まで使って給食を一緒に食べて議員と子どもたちが仲良くなって終わることが理想」とおっしゃられた様な取組が出来るのも良いのかなあと思う。今回の反省点を次回に活かせるようにしたい。

### 西本 真樹 議員

- ・A組、B組の授業が別々であったので、それぞれのクラスの雰囲気をみることができた。
- ・正副議長、委員長も実際に生徒の前で話す方が、雰囲気が分かって話しやすいのではないかなと思う。
- ・議会の説明は、パワーポイントか何らかの資料を作成して、デジタル黒板に写しながら話したほうが、より分かりやすい説明になると思う。

- ・「多くあった質問」を事前にまとめてもらったことで、広報広聴委員以外の議員にも回答してもらうことができたと思う。
- ・共通する質問の回答については、あらかじめ広報広聴委員会で検討をしておくべきであった。
- ・生徒から事前に出して頂いた質問には、文章で答えることが必要だと思う。

### **坂本 直幸 議員**

青海中学校の校長・社会科担当教諭・生徒は議員と語る会実施により、今後も議員と語る会の継続を望んでいる声が多かった。

中学生と語る会を実施することで、生徒からの質問・アンケートから、その地域の現状把握ができ議員にとっても勉強になった。

### **井上 恭子 議員**

今回のこの企画には、広報広聴委員会の努力があり、とても良かったと感謝している。

特に一部の議員だけでなく、議員も役割分担をしたことで、議会が一丸となって行われていたのではと感じる。また、事前の生徒たちへの聞き取りなどがあり、生徒たちの意見が聞けたことで、回答する側も安心して臨むことができた。

ただ、これはあくまでも「中学生と語る会」なので、もっと中学生との意見交換の時間を取りたかった。なぜなら質問された内容のほとんどはパソコンで検索でき、解決策まで書かれているので、議員が一方的に教えるのではなく、中学生の疑問をもっと導く方法がいいのではと思った。

議長の自己紹介がとても長かった。「中学生と語る会」はあくまでも中学生のための時間なので、偉い人のあいさつが子どもにとって必要かどうか考えてもらいたい。

今後は議場で「中学生の議会」というのを実現できればと思う。

広報広聴委員会の皆様、大変ご苦労様でした。

### **中村 崇春 議員**

- ・両中学校ともに、中学校との打ち合わせの開始が遅かった。
- ・地方自治の説明が口頭のみで、生徒には理解しにくいと感じた。
- ・議員側の共通認識に違いがあったため、生徒にとって有意義な時間となったか疑問が残ってしまった。議員の自己満足になってしまった感じがした。
- ・最後に生徒の質問への答えを紙面で配布できると良かったのではないかなと思う。

## **③共通**

### **坂本 直幸 議員**

今回、中学生と語る会開催にあたり委員長（坂本）の実施判断が遅かったため、来年度は語る会の実施にあたっては早い時期に実施日程を決定する。

生徒との質疑応答の時間を15分程度確保する。

### **伊奈 利信 議長**

所感

- ・実施に至るまでに生徒の皆さんが、まちのことや市政、議会のことについて目を

- 向け、考えて、たくさんの意見や質問を出してくれたことに有り難く思った。また、その内容についても中学3年生とは思えないほどのもので驚いた。
- ・教室での生徒の皆さんの礼儀正しいあいさつや向き合う姿勢など素晴らしく感じた。
  - ・時間配分で少し長く話しすぎてしまい、申し訳なく反省するところである。
  - ・全体的に、議員が話しすぎて、「語り合う」ことに重点を置くように進めるとさらに良い取り組みになったと思った。1限では時間不足かもしれない。
  - ・校長会などで実施した2校の校長先生から何かしらの実施報告をしていただけると、次の開催につながると思う。
  - ・質問に対して、議員が答える内容が100%正しかったのかは微妙なところである。個人的な答えや曖昧な答えなど気をつけたほうが良い。

来年度に向けての意見

- ・今回のような取り組みは、「〇〇と語る会」としての達成感もあり、教育の面からも大きな成果があったと思うため、継続開催も十分にあると考える。他中学校でもオファーが来るかもしれないので、柔軟に対応していけば良いと考える。
- ・この語る会も、市民、市民団体、各種業界（組合など）、中学生を対象に実施してきた。来年度以降については、時の広報広聴委員会で検討していけば良いと思う。

令和4年2月3日

常滑市議会議長 様

常滑市議会「議会と語る会」実施要項第8条第1項の規定により提出します。

広報広聴委員会委員長 坂本直幸